

## 吊り上げ用具類の寿命予測手法の開発

### 【研究概要】

現在のクレーン用ワイヤロープの廃棄基準の中でも特に断線数による判定については、検査者の断線を発見する能力に依存し、かつ、優先的に生じる不可視であるワイヤロープ内部の断線を数えないと正確な評価ができないという問題点を抱えている。本研究では、ワイヤロープ S 字曲げ疲労試験などを行い、漏洩磁束等を活用したテスターによる検査者の能力に依存しない定量的な寿命予測法の確立を目的とする。特にこれまでは張力が一定の元で疲労試験を実施していたが、本研究では張力が変動する条件下での寿命及び残存強度予測法を確立することを目的とする。

